

令和2年度 南丹市健幸・食育レシピコンテスト取組報告

◆取組み目的・経過

南丹市では、子ども達の食の関心を深めるきっかけとなるとともに、子ども達のレシピで健幸なまちづくりに繋がる取組として、小中学校の児童・生徒を対象に「第1回南丹市健幸・食育レシピコンテスト」を開催しました。また、子どもたちのレシピが、給食メニューや新型コロナウイルス感染症で余儀なく自粛となる、市内の飲食店を応援する食育レシピになるよう計画し、市内全体が明るく健幸に繋がるよう、すすめていきます。

◆応募テーマ

「めざせ！ぼくも、わたしも野菜シェフ！」

～みんなのレシピで家族やまちを元気にしてみませんか～を応募テーマとし、身近な野菜を使ったレシピを令和2年7月～9月に募集

◆応募数

288 作品（小学生部門：72 作品 中学生部門：216 作品）

◆1次審査

南丹市立小中学校栄養教諭4名、南丹市保健医療課管理栄養士2名による書類審査をおこない各部門（小学生部門、中学生部門）より合計10作品を審査基準に基づき決定

◆2次審査

審査員10名（南丹市商工会長、南丹市商工会青年部員、南丹市立小中学校栄養教諭3名、南丹市食生活改善推進員協議会長、南丹市健幸まちづくり推進協議会委員、南丹市健康増進食育推進計画庁内推進委員会 食育推進部会長、南丹市福祉保健部次長、南丹市保健医療課管理栄養士）による、書類および試食審査をおこない、各部門（小学生部門、中学生部門）よりそれぞれ最優秀賞1作品、優秀賞2作品を決定

また、小中学校の給食レシピの実現に向けて、展開が可能と思われる作品を審査員会の中で協議し、審査員特別賞まんぷく賞として1作品を決定



審査員長 南丹市商工会 寺田会長（中央右）
副審査員長 南丹市食生活改善推進員協議会 谷会長（中央左）



南丹市健幸まちづくり推進協議会 川勝委員
（左から2番目）

◆表彰式

令和3年1月19日(火)、第1回南丹市健幸・食育レシピコンテストの表彰式を執り行いました。当日は、新型コロナウイルス感染症感染防止のため感染対策を講じながら、最優秀賞(小学生部・中学生部)各1名、審査員特別賞 まんぷく賞1名の、3名のみのお出席とさせていただきました。西村市長と寺田審査員長(南丹市商工会長)より、表彰状と記念品が授与されました。

◆給食レシピへの展開

審査員特別賞 まんぷく賞に入賞された、殿田中学校2年宇野颯真さんの作品「和パオライス」が給食のメニューへと展開されました。

南丹市内の小中学校では、1月末に給食週間の取組みをされ、「和パオライス」が給食として、全ての小中学校で提供されました。大変好評で残菜も殆どなかったようです。

宇野颯真さんのコメント



令和3年1月25日(月) 殿田中学校給食

- 今日のメニューはいかがでしたか？
⇒家で作った時と味が変わってはず、同じ味でおいしかった。自分が作ったメニューが、みんなに給食で食べてもらえ、嬉しかった。またよい経験になった。
- このメニューのきっかけは？
⇒母と父が仕事で疲れている時に、食べて元気づけたと思った。母が豆腐が苦手なので、食べてもらえるように工夫した。
調理の技術がないので、自分のできる範囲で簡単で、おいしいメニューを考えた。料理を作る事は楽しいし、よい経験になった。



これからも、みなさんのレシピで健幸なまちにしていきたいと思います！

南丹市では、住み続けることで健康で幸せになれるまちを目指しています。これからも、みなさんのレシピで家族や地域、そしてまち全体を健幸で元気にしていく取り組みを進めていきたいと思います。